

進路だより

浜田水産高校

第6号 H28.10.27

進路指導部

秋です

水高祭も近くなり、学校内も少し慌ただしくなりました。校庭の桜もほとんど葉が散ってしまい秋の景色となっています。毎年この時期になると「今年も残りが少なくなったなあ。」と感じるのは私だけではなく、皆さんもきっと同じでしょうね。

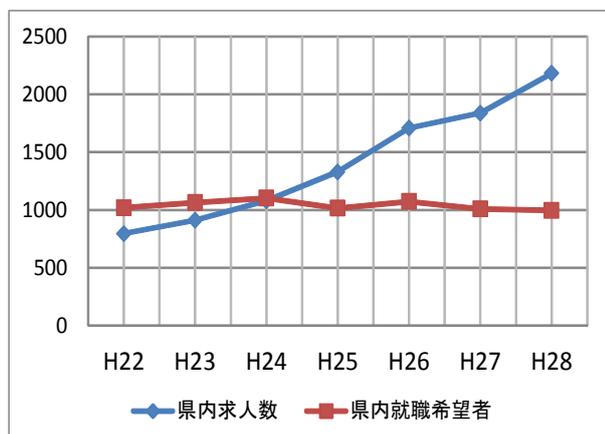
3年生の就職試験も一通り終わりました。多くの生徒のもとに内定通知が届きましたが、これからという人もいます。また、進学希望の人はこれから入学試験という人もいます。できるだけ早く皆さんの元へよい知らせが届き、進路が決定して欲しいと願うこの頃です。

求人と就職の状況

先日進路指導協議会の就職部会という会議があり出席してきました。高校の進路指導部と教育指導課、労働局、ハローワークが情報交換を行い、高校3年生の内定状況の確認や、就職試験に係わる問題点について話し合いました。本校では地元就職を希望する生徒の割合が多いので、この会議で報告のあった島根県内の求人・就職状況についてお知らせします。

県内求人は8月31日現在で2,181人分でした。本社が県外でも勤務地が県内であれば県内求人としてカウントした数字です。それに対して県内就職を希望する高校3年生は997名で求人倍率は2.19倍、100人に対して219人分の求人があったということになります。求人数が多くて高校生にとっては良い傾向でした。

下のグラフは平成22年度から今年度までの県内求人数と、県内就職希望者数の変化を表したものです。平成24年度までは就職希望者より求



人数が少なかったわけで、県内就職が今ほど簡単ではなかった時代でした。今の生徒の皆さんには信じられないかも知れませんね。以後の求人数は右肩上がりに増えています。一方高校生の県内就職希望者数は生徒数の減少もあり、増えていないことが分かります。

ハローワーク浜田管内に限ると、求人数は239人分、県内就職希望者は85人で求人倍率は2.81倍、県の平均を超えています。この数字は私の知る限り最も高い値で、今の高校生はたくさんの選択肢の中から就職先を選ぶことができる恵まれた時代といえます。数年前の生徒達は求人少なく、応募先を見つけるのに苦労したそうです。やっと応募先を見つけ受験しても、不合格になると次の受験企業がなく、卒業まで内定を得られない生徒もいたと聞いています。それに比べると、今の生徒の皆さんは良い時代に生まれたということでしょうか。しかし、恵まれた環境に甘えることなく、これから進路活動始める1・2年生の皆さんには、真剣に進路について考え、準備をして欲しいと思います。

内定したら！

内定通知を受け取ってから授業への取り組みが疎かになったり、学習への意欲が低下したりしていませんか。服装を注意されたり、授業遅刻が多くなったりしていませんか。生徒指導部のお世話になるなどは言語道断、あるまじき行いです。内定したから卒業さえできれば良いというものではありませんよ。オンとオフの切り替えを上手にして、残りの高校生活を充実したものにして欲しいですね。内定から入社・入学までの生活と、入社・入学後の生活にギャップがありすぎると、うまく対応できないかも知れません。入社・入学した途端に遅刻連発とならないように、自分自身を上手にコントロールしながら過ごして下さい。目指すは無遅刻・無欠席、節度ある生活です。

就職・進学に関わらず、内定したらもちろん嬉しいでしょうし、ホッとしたいと思います。しかし、気を緩めてはいけません。卒業したら本当のスタートが待っています。今はそのための助走の時だと思い、少しずつ準備を始めて下さい。